短大建築・生活デザイン　学科・専攻

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者 学　年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎	推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年
1	人と空間が生きる音デザイン：12の場所、12の物語	小松正史	昭和堂	2020	教授	羽入 敏樹	1年生			私たちは建築を目で見て視覚的なものとしてとらえがちです。この本は、実際の空間の居心地、人の行動や思考に音が大きく影響することを教えてくれます。そして、空間の音環境をデザインすることで居心地や快適さ、仕事や勉強の効率さえも高めることができるのだと気づかされることでしょう。耳を使えば建築が変わる！ 耳で建築をとらえてみたら新しい建築の可能性が広がるかもしれませんよ。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
2	カリスマ建築家偉人伝：20世紀を動かした12人	矢代眞己	彰国社	2007	教授	矢代眞己	1年生			怪しげな書名だが、20 世期の建築の軌跡と様相について、1 ダースの建築家の取り組みを振り返りながら、まじめに考えていく一冊。対話形式となっているので読みやすい。各項の扉裏には、なぜだか内容を要約した三コマ漫画も載っています。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
3	しくみ図解シリーズ 耐震・制震・免震が一番わかる：現在の建築物で重要視される地震対策をまんべんなく解説	高山峯夫、田村和夫、池田芳樹	技術評論社	2012	准教授	石鍋 雄一郎	1年生			日本は地震大国であり，多くの場合において地震は建築物に対する大きな脅威となります。それだけに地震のメカニズムや地震対策技術について学ぶことは非常に重要であると言え、本書ではその基本的なことが広く解説されています。一般向けに読みやすく書かれた本でありながら、その割に内容が詳しいのでこれから建築を専門的に学んでいく皆さんに好適と思われるのでおすすめします。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
4	建築家へのABC：ハウ・トゥー・アーキテクト	ダグ・パット、矢代眞己訳	鹿島出版会	2012	教授	矢代眞己	1年生			建築家とは何者なのか。その喜びや苦労はどのようなものであろう。アメリカでの姿が描かれているが、基本は世界中でそれほど変わりません。建築家という職能のイロハについて、A からZ までのアルファベット26 項目であらわしている。建築畑に将来の夢を描く若者には、ぜひ手に取ってもらいたい一冊。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者 学年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎	推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年
5	個室の計画学 (SD選書；267)	黒沢 隆	SD 選書 鹿島出版会	2016	教授	矢代眞己	1年生			昨日まで自分専用の部屋で過ごしてきたのに、結婚をした瞬間から何の疑問もなく夫婦二人で一室を共有することになる。あたりまえさ、と見過ごされてしまう生活様式に不思議を抱き、個人単位での社会のありかたやそれに見合った住まいの形式「個室群住居」を唱えた著者の著作集。みなさんにはまだ手ごわい内容かもしれませんが、「ウイズ・コロナ」の生きかたを求められる現在だからこそ、読んでみてもらいたい一冊。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
6	手と足で考える一吉松秀樹の言葉 「手で考える」「足で考える」の2巻セット	吉松秀樹、八束はじめ	フリックスタジオ	2019	非常勤講師	大井 裕介	1年生			この本は、東海大学の教授であり建築家の吉松秀樹が半世紀にわたって広く伝えようとしてきた「設計に対する姿勢の取り方」を大学と社会の結びつきの実践例として記録されています。 学生、友人など230 名の著者が吉松秀樹の言葉を通した体験を綴っています。みなさんがこれから建築を学んでいく上で自分の日常の環境に重ね合わせて読める点が本書の魅力です。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
7	構造デザインマップ東京	構造デザインマップ編集委員会編著	総合資格	2014	准教授	廣石 秀造	1年生			「構造」と聞くと、どのようなイメージを持つでしょうか。耐震や安全などでしょうか。確かに耐震性と安全性の確保は、建築を考える上で必要不可欠なものです。ただ、構造の役割はそれだけではありません。個々の条件の中で、建築家(意匠設計者)が思い描く空間を実際に成立させるため、構造的観点から様々な工夫が行われています。本書は、東京近郊を対象に、構造の視点から建物が地図付きで紹介されています。実は、理工学部船橋校舎も載っています。今は出歩くのが難しいけど、いつかはぜひ実物を見に行ってください。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
8	フジモリ式建築入門	藤森照信	ちくまプリマー新書	2011	助教	川嶋 勝	1年生			おそらく、歴史が苦手でも読めてしまう建築の歴史。たぶん、読書が苦手でも一気読みしちゃう軽妙な一冊。ヨーロッパと日本の建築史のエッセンスはもちろん、人類にとっての建築とは何かを考えさせられます。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者 学年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎	推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年
9	内藤廣と若者たち　人生をめぐる一八の対話	東京大学景観研究室編	鹿島出版会	2011	助教	川嶋 勝	1年生			建築の学生ならば誰もが一度は抱える悩みに、真正面から答えていく対話集。才能とは、個性とは、孤独とは、女とは、男とは……。珠玉の言葉で満たされた人生の応援歌に出会えます。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
10	旅はゲストルーム　測って描いたホテルの部屋たち	浦 一也	光文社	~~2001~~ 2004	非常勤講師	竹内 光子	1年生			著者が宿泊した、世界各国のホテルのスケッチと、街の様子や旅先の出来事が書かれています。スケッチは、プランと共に内観や詳細なども載っていて、書いた人の視点もわかって面白いです。文庫本なので、気軽に世界旅行気分が味わえます。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
11	住まいを語る―体験記述による日本住居現代史	鈴木成文	建築資料研究社	2002	非常勤講師	竹内 光子	1年生			「自分が生まれ育った住まい」について25 事例、それぞれ本人の体験として書かれています。住まいは建築家が設計したものだけでなく、伝統的なものから建売住宅・マンションなど様々で、時間の経過と共に住まいと生活が変化する様子を知ることができます。また、冒頭では、現代の住宅に至るまでの歴史についてまとめられているので、自分にとって「普通」の生活がいつから普通になったのか、なども分かります。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
12	エスキスシリーズ①アクティビティを設計せよ！	小嶋一浩	彰国社	2000	非常勤講師	竹内 光子	1年生			ほとんどのページが写真と図で、そこに寸法や仕上げ、過ごし方や空間の特徴などが書き込まれています。写真には人や家具が入っているので、スケール感もつかみやすいです。後期から設計課題がはじまるにあたって、自分が作成した図面や模型などを見て、そこでどのようなアクティビティが行われるのか想像するのに役に立つかな、と思います。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者 学年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎	推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年
13	多縁社会：自分で選んだ縁で生きていく。	篠原聡子	東洋経済新報社	2015	非常勤講師	竹内 光子	1年生			シェアハウス、コレクティブハウス、2.5世帯住居、二拠点居住など、住まい方を積極的に選んだ人を紹介しています。その暮らしを選んだきっかけ、魅力やハードルなど、取材を元に具体的に書かれています。キーワードとして言葉は知っていても、実際の暮らしは意外と知らなかったりするので、多様な暮らし方を知るきっかけになれば、と思います。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
14	構造デザイン講義	内藤 廣	王国社	2008	非常勤講師	梅原 智洋	1年生			建築家内藤廣が東京大学で行った講義をまとめた本。今でこそ広く知られるようになった「構造デザイン」という分野を、独特な構造的感性を持つ内藤廣の言葉と実例を通して体感できる。構造に興味のある学生はもちろん、構造は不得意だがデザインが好きな学生にも読んでもらいたい一冊。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
15	イシューからはじめよ：知的生産の「シンプルな本質」	安宅和人	英治出版	2010	助教	石田 優	1年生			デジタルという新しい地層のうえに、私たちは存在していることをまずは正確に理解すること。決まっている答えの問題を解くことよりも、空想と妄想のあいだを繰り返し思考することでしか到達しえない、価値の重要性を教えてくれる一冊。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
16	他人の顔　改版	安部公房	新潮文庫	2013	助教	石田 優	1年生			顔の一部を覆い隠さなければならない日々。新しい顔の一部としてマスクを受け入れたとき、自己は他者の表情を認識するため、新しい知覚を獲得しなければならないのか。この本は、奇妙なコミュニケーションの思考実験がこと細かく表現されているので、たのしい。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者 学年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎	推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年
17	住まいの解剖図鑑：心地よい住宅を設計する仕組み	増田 奏	エクスナレッジ	2009	助教	石田 優	1年生			普通の住宅で当たり前に使われている空間や装置について、そうなっているイキサツ・知恵や工夫が誰にでもわかりやすく解説してくれている本です。例えばドアの開き方、階段の配置の仕方、建物の配置がどうしてこの方向、場所に設置されているのか丁寧に解説してあり分かり易いです。図を多く使用されていることや、建築を知らない人でも分かるような文章で構成されているため、学生でもとても楽しく読み進められるかと思います。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
18	眼を養い手を練れ　宮脇檀住宅設計塾	宮脇塾講師室	彰国社	2003	非常勤講師	横村 隆子	1年生			建築生活デザイン学科のカリキュラムのさまざまな科目が、どういうかたちで総合的に設計・デザインに体系化されていくのか、されなければいけないのか、後期設計課題の進め方にも参考になる1冊。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
19	光の教会　安藤忠雄の現場	平松 剛	建築資料研究社	2000	非常勤講師	横村 隆子	1年生			1年前期図面コピー課題「住吉の長屋」の設計者、安藤忠雄の設計した「光の教会」と名付けられた建物の構想から設計、完成までをつぶさに追った建築をつくる醍醐味が感じられるドキュメント。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
20	法隆寺を支えた木 改版	西岡常一、小原二郎	NHK出版	2019	非常勤講師	横村 隆子	1年生			千年を超す大伽藍を支えた木の秘密、どうして持ちこたえたのか、法隆寺を修復した宮大工が語る先人の匠に向き合った名工の建築論、木の命とは、建物の命とは？	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者 学年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎	推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年
21	『川は生きている』『道は生きている』『森は生きている』・自然と人間シリーズ三部作	富山和子	講談社 青い鳥文庫	1987	非常勤講師	横村 隆子	1年生			私たちの国土の自然を考える時、歴史的にものをみるということは、大切な科学の方法であることを、小学生向けにわかりやすく、真理は身近な所にあることが書かれている大人にも読んでほしい3冊。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
22	木を植えた男	ジャン・ジオノ	あすなろ書房	1989	准教授	山﨑 誠子	1年生			設計事務所を立ち上げたときに自然環境の調査を仕事にする友人に薦められて読んだ本です。その時は人が自然を破壊したことに対してそれを復活する大切さみたいなことで感動したような気がするのですが，25 年ぶりに読んでみると，その場所に居続け，思考しながらも正しいと思う行為を続けることが大事なんだと，気づかされました。友人はそれが言いたかったのかな・・・。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
23	ペスト 改版	カミュ、宮崎嶺雄訳	新潮文庫	2004	教授	酒句 教明	1年生			最近，クラシックな文学作品ばかり読んでいます。時代背景を予習してから読むと，当時の風俗とか生活スタイルが分かり面白いです。すでに話題になっているこの本は，ペストにより不条理にも平常の生活や命が奪われていく人たちを描いた，まさに新型コロナに直面した現在を予見したような作品です。安定的な社会システムを当たり前のように享受している我々が，実は世の中が不条理に満ちていることを認識すれば，メディア授業のストレスも軽減されるのではないかと思い推薦しました。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
24	カフカ短編集	池内 紀編訳	岩波文庫	1987	非常勤講師	濱嵜 良実	1年生			繰り返し読む本。考えさせられる本。何度読んでもわからない／おもしろい。読むたびに意味が変わる／発見がある。そんな本がわたしにも何冊かあります。『カフカの短編集』もそのひとつ。この短編集のセレクションはなかなかです。一話が短く、あっという間に読めてしまう。近くにひょいと出かけるときによく持って出ます。いずれも面白いのですが、「喩えについて」はとくに短く痺れます。そんな本と出会えますように。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者 学年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎	推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年
25	怪獣の名はなぜガギグゲゴなのか	黒川伊保子	新潮新書	2004	非常勤講師	大塚 茂仁	1年生			ゴジラ、ガンダム、エヴァンゲリオンのような巨大で大きな力を持つイメージを持つキャラクターには、濁点のもつ重い音が使用されている のには理由がある。人の性格は、名前の音によっても形成される側面があるという。社会において、ことばの「音」はどのように活用されているのか。雑誌、お菓子、車などその名前の音が商品イメージを決定する。言葉の音に関することば理論。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
26	日本語はなぜ美しいのか	黒川伊保子	集英社新書	2007	非常勤講師	大塚 茂仁	1年生			ひらがな、カタカナ、漢字という三種類の文字を使い分ける日本人は、文字を読むだけでなく、見るという行為によっても使い分けている。例えば、漢字の「桜」とカタカナの「サクラ」、桜の英語訳である「Cherry blossoms」の3つから樹木の立ち姿を想像したときに、同じような姿を想像するだろうか。希有な言語としての日本語を解説する一冊。	1				
							2年生以上				2				
							全学年		○		3				
											4				
											5				
27	新しい建築のみかた	斎藤公男	(株)エクスナレッジ	2014	教授	佐藤秀人				本学名誉教授の斎藤公男先生の著作。「デザインとエンジニアリングの融合」という視点で，世界中の種々な建築物の構造形式を，歴史的な発展と絡めて解説している。図や写真も多く，建築を学ぼうとする学生諸君にはぜひ読んでもらいたい。	1	構造と感性: 構造デザインの原理と手法	川口 衞	鹿島出版会	2015
					教授	酒句教明					2	力学・素材・構造デザイン	坪井善昭 他	建築技術	2012
											3				
											4				
											5				
28	20世紀を築いた構造家たち	小澤雄樹	オーム社	2014	教授	佐藤秀人				世界中から「20世紀を代表する構造家16人」を取り上げ，主要作品を構造とデザインの観点から紹介し，それらが歴史的に果たした役割などを解説している。	1				
											2				
											3				
											4				
											5				

2022短建

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者			推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)				
							学　年	配架(希望)先				書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年
								駿河台校　舎	船　橋校　舎						
29	地球と生きる家	野沢正光	インデックスコミュニケーションズ	2005	教授	佐藤秀人				家をデザインし建築するために考慮すべき事項を環境的な視点から解説している。本書は，55頁と比較的薄く，絵本的な間隔で気軽に読める本である。	1	家づくりのきまりとくふう	堀 啓二	インデックス・コミュニケーションズ	2006
					教授	矢代真己					2	タンポポ・ハウスのできるまで	藤森照信	朝日新聞社	1999
											3				
											4				
											5				